

見處女墓作歌

いよゝゝ有るる事とふれりてん。  
 云々々々津國の河一産  
 處女伊咲花之老れ西輪。  
 智勢士菟原士の佐度波々々。  
 書問志つりるれ競り々々。  
 宣輝の惜命は露霜の消  
 失ぬる親族もいふ集る。  
 後の世は志ぬがせらと巖楯。  
 送り場も其緯の南面。  
 是を死塚中よ立寄り。其経め。  
 彼方此方智勢士の那の男は。  
 二塚をいじりてん。其が如今も  
 残らるるを悲しむ。あはれ。  
 嗚呼。おのれ。あはれ。あはれ。  
 嗚呼。おのれ。あはれ。あはれ。

女中宛書





見處女墓作歌

いづれも有る子に  
おはれし津國の河  
處女伊吹の志を  
智智士草原士佐度波  
言問ふりも  
空願惜命以雲霜の消  
去ぬる新族もいふ  
後世に生れしも  
送る婿は川南面  
をめぐりて  
彼世の智智士  
二振いし  
孫も  
あ  
あ

五十嵐